

大切な自然

パートII

甲賀市内の大切な自然が存在する地域について紹介します

●第14回●

土山町の鎮守の森



神木の森

土山地域には、古くからの神社がいくつもあり、神社の周囲には鎮守の森（杜）があります。森は、神様の住む場所として、永い間にわたり、木が切られず保護されたため、

神木といわれる様な巨樹・巨木が見られます。

スギやスタジイ、ケヤキなどの巨木には、折れた幹や枝の跡などに、大小の穴が空いて、動物たちの貴重な「すみか」となります。小型のフクロウ「アオバズク」は、青葉の季節に南国から飛んで来て、巨木の洞で子育てをします。近年は、洞の空くような巨木が少なくなり、餌の昆虫も減って、各地から姿を消しましたが、土山地域の神社では、ホー、ホーと少しユーモラスな声が聞かれます。大切に見守りたい野鳥です。

また、神社の森では、土地が大きく削られる等の変化が少な



アオバズク (東正世氏撮影)



ナミマイマイ

いため、環境変化を避けて移動できない、森林性のカタツムリが健在です。クチベニマイマイ、ナミマイマイなどが見られます。

鎮守の森は、小さい面積であっても、その土地本来の森林の姿が残る、貴重なスポットなのです。

12月の休園日

1日(月)、8日(月)、15日(月)、16日(火)、22日(月)、24日(水)、28日(日)～31日(水)

みなくち子どもの森自然館

☎ 63-6712 FAX 63-0466

甲賀市文化協会連合会文芸欄

今回は、甲賀町文化協会からお寄せいただきました。

甲賀町俳句同好会 北川 溪舟選

- ・後の月今宵地酒のぬき落とし
- ・山深し夕闇照らす十三夜
- ・呼び止めて柿と笑顔をくれし人
- ・飽食は猿にも及び柿無残
- ・無住寺の隅に怪しい木守柿きもりかき
- ・月宮に誘なわれたき十三夜

瀬古 一露

曾和 きくえ

山下 きよ乃

山下 鈴霞

藤原 構生

亀川 朝子

鹿深句会 桑田 美智子選

- ・庭石を渡り来る風爽やかに
- ・木の突降る土に新たな命かな
- ・胡弓の音旅愁をつのる風の盆
- ・日の出待つ灯台明り秋の宿
- ・働ける身に喜びて秋の風
- ・師の遺品大作生けし文化の日

林井 道乃

茂田 悦子

山下 美幸

山下 淑子

東 美智代

桑田 美智子

甲賀川柳 井上 謹三選

- ・昨日までこの世の夫も仏様
- ・ずつしりと稲穂重そう日本晴
- ・何事も知らん振りする母の耳
- ・敬老会まだまだだと思つたに
- ・母の日に母はいままさず喜満咲く
- ・仏壇に夫待ちくれる写真あり

藤原 良子

桑田 次雄

広岡 しげの

隠岐 信子

藤橋 淑子

山下 とめの

次回(2月1日号)は、あいの土山文化協会の予定です。